

近森オルソリハビリテーション病院

院長 鄭 明守

2025 年は診療体制として鄭、西田診療部長、深谷先生、窪川部長、町野医師の常勤 5 名に加え、金山医師に診療応援をしていただいた。病床は従来どおり 3 階 44 床（一般、地域包括ケア病棟）4 階（地域包括ケア病棟）56 床にて運営した。患者紹介に関しては関連病院である近森病院からの紹介が多数を占め、他院からは従来どおり高知医療センター、高知赤十字病院、高知大学からも紹介いただいたが、高知大学からの紹介割合が増加していた。回復期対象整形外科患者の近森リハビリテーション病院への転院割合が増加しており、稼働率の維持が困難であった。外来患者については緩徐ではあるが、右肩上がりの増加傾向にあり、十分ではないが稼働率低下に伴う収入源を補完している。次年度は一般病棟の地域包括ケア病棟への転換という大きな動きが予定されており、引き続き稼働率を含めた病棟運営は病床会議スタッフが、外来に関しては外来看護スタッフ、リハビリ療法士が自立して運営・調整し効率的に運営することが重要となると思われる。